

グッジョブ

kagoshim

Good Job



■ 南日本放送 | 鹿児島市

池田 佳史郎さん (27)

映 画が好きで、高校生の時から映像の仕事に携わりたいと思っていました。画家の奈良美智に焦点を当てたドキュメンタリー番組を見て、個人の深い部分を掘り下げて生き生きと人を描く仕事に感銘を受け、テレビ局で働きたいと考えるようになりました。

大学は映像学部で映像づくりの基礎を学びました。鹿児島で働きたいという思いが強く、地元テレビ局を受験しましたが、内定は取れませんでした。その他業界も受験したものの、テレビ局に就職できなかった悔しさが強く、大学院で映像づくりの勉強を続け、再びチャレンジしました。

テレビ局の試験は筆記試験、面接、小論文が多いです。特別な面接の対策はしませんでした。ただ、自分の経験をかみ砕いて丁寧に伝えられるように努めました。不完全燃焼な面接は、今思えば企業研究が足りず、言いたいことがうまく伝えられなかったような気がします。企業の姿勢や方針をしっかり調べ、自分がそこで何がしたいかをイメージし、企業に思いを伝えるのが大事です。

小論文では、出されたテーマをどう鹿児島に結び付けて展開するかがポイントです。ニュースや新聞をよく見て、物事に対する自分の考えを持つようにしましょう。

構成力身に付けて

私のシニョーカッ

学生時代には本や新聞をたくさん読むようお勧めします。文章がどのように構成されているかを考えることは、面接や小論文など決められた時間や行数の中でどう伝えるかということに通じます。そして世代を超えてたくさんの人と交流し、いろんな経験をしてください。経験は宝です。

Profile

2015年4月入社。テレビ制作部のディレクターとして「てげてげ」などの番組を制作。立命館大学大学院映像研究科卒。鹿児島市出身。

取材・永山一樹、中村直人
写真・蓑田智史